

船舶事故調査報告書

令和元年5月8日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 佐藤 雄二（部会長）
 委員 田村 兼吉
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成31年1月28日 08時00分ごろ～11時26分ごろの間）
発生場所	不明（岩手県大船渡市首埼 ^{おおふなと こうべ} 東方沖）
事故の概要	漁船万寿海丸 ^{ますみ} は、一本釣り漁の操業中、船長が落水して溺死した。
事故調査の経過	平成31年1月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 万寿海丸、2.50トン IT3-47275（漁船登録番号）、越喜来漁業協同組合 8.20m（Lr）×2.00m×0.70m、FRP ディーゼル機関、144kW（動力漁船登録票による）、昭和54年6月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 83歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年1月23日 免許証交付日 平成26年4月21日 （令和2年3月18日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西～北北東～南南東、風力 1～3、 視界 良好 海象：うねり 波向東、波高約1.5～2.0m、水温 約8℃
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、大船渡市越喜来 ^{おきらい} 漁港を出港し、越喜来湾口の大塩埼南方沖を漁場に向けて東進中、平成31年1月28日08時00分ごろ帰港中の僚船とすれ違った際、船長が僚船の船長に手を上げて挨拶をした。 首埼東方沖を航行していた遊漁船の船長は、11時26分ごろ、首埼灯台の東方沖1.4km 付近において、無人で漂流している本船を発見して所属する漁業協同組合に連絡し、その後、海上保安庁に通報した。

	<p>船長は、13時23分ごろ、首埼灯台の東方沖1.1海里（M）付近において、捜索に当たっていた別の僚船により、うつ伏せの状態で見失われているところを発見されて大船渡市^{ききはま}崎浜漁港に搬送されたが、死亡が確認され、その後、溺死と検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
その他の事項	<p>本船は、発見された際、前部甲板のいけすに漁獲された魚が十数匹入っており、甲板上に一本釣り（手釣り）の仕掛けがなく、主機が中立運転の状態であり、船体に他船と衝突した痕跡はなかった。（写真1参照）</p> <div data-bbox="708 591 1251 969" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">写真1 本船</p> <p>船長は、発見された際、固型式の救命胴衣を着用していたが、携帯電話を携帯していなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、08時00分ごろ漁場に向けて航行しているところを確認された後、11時26分ごろ首埼東方沖において無人で漂流しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>本船は、発見された際、いけすに漁獲された魚が入っていたこと、及び甲板上に手釣りの仕掛けがなかったことから、一本釣り漁の作業中に船長が落水して溺死したものと考えられるが、目撃者がおらず、それらの状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、首埼東方沖において一本釣り漁の作業中、船長が落水して溺死したことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業中は、十分に注意して落水防止に努めること。 ・ 防水型の携帯電話又は防水パックに入れた携帯電話を常に携行し、緊急時の連絡手段を確保することが望ましい。

付図1 事故発生場所概略図

